



【学校教育目標】 夢をえがき 計画を立て 行動する 児童の育成

家庭と学校の絆

月桂樹



令和7年度1月号
戸田市立新曾小学校
Tel. 048-442-2774

「自立」と「自律」

～今年も「夢をえがき 計画をたて 行動する 新曾っ子」を育てていきます～

校長 筒井 陽子

保護者・地域の皆様におかれましては、健やかに令和8年の新春をお迎えのことと存じます。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。「丙（ひのえ）」も「午（うま）」も「火」の要素をさし、「燃え盛る太陽」や「炎」のように、強いエネルギーや情熱、華やかさをあらわすことから、とくに力強く前進し、ものごとが発展する縁起のよい年とされています。子供たち一人ひとりが描いた夢の実現に向け、パワフルに一步一步前へ進み、実を結ぶことを強く願っています。

昨年は、授業参観・懇談会、スポーツフェスティバル等の学校行事や6年生の修学旅行、5年生の林間学校、1～3年生の校外学習等の学年行事も行いながら教育活動の充実に努めてきました。皆様の御理解と御協力により、子供たちもさまざまな活動に取り組むことができましたことに、深く感謝申し上げます。

引き続き、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本校の学校教育目標は、「夢をえがき 計画をたて 行動する 児童の育成」です。子供たち一人ひとりが「自分がやりたいことを、自分で見つけて、自分でどんどんやっていく」ことが大切です。そのためには、「じりつ」する力が必要です。「じりつ」には、「自立」と「自律」があります。

「自立」は、「他からの影響や従属から離れ、独り立ちすること」という意味の言葉です。他人に支配されたり、助けを受けたりすることなく、自分の力だけで物事を行うことをいいます。もう一つの「自律」は、「自分の行為を主体的に規制すること。外部からの支配や制御から脱して、自身の立てた規範に従って行動すること」という意味の言葉です。自分の力で自分を正しく規制することをいいます。「自立」には、苦手なことはできるように工夫したり、難しければ一緒にやったりしながらやる気を引き出していくことが大切です。もう一方の「自律」には、自分さえよければよいではなく、他者を理解する寛容さ、規則の尊重、公正、公平など正しい価値判断ができる心を育むことが大切です。

さらに、子供たちが活躍するこれからの社会では、変化や多様性を受け入れる適応力や柔軟性も必要になってきます。また、これまで以上に、答えのない課題を解決するために主体的、協働的に取り組む力が求められます。主体的に取り組むために、自分で決め、それに従って実行する、「自律」する力を身につけ、協働的に取り組むために他者を理解し受け入れることができるようになって欲しいと願っています。

将来、子供たちが笑顔で暮らせる未来となるように、今年も、教職員一丸となって取り組んでまいります。